

1月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	17,069	103	15,766	234	110	218	-	0.0	静岡、愛媛、長崎、熊本、香川産中心の入荷となる。静岡は平年並みの肥大状況で、Lサイズ中心の出荷となる。入荷量は前年並み～やや増となる。愛媛は前年並みの入荷となる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。
りんご類	4,661	120	5,843	338	82	252	86	1.8	青森産が殆んどを占め、山形、岩手、秋田産も入荷する。品種はふじが約8割。青森のふじはJA系統の入庫量が前年の130%程度となっている。果実の大きさは36、40玉中心で、着色、品質は良好である。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回るものの平年並みの見込み。
いちご類	3,305	120	4,026	1,282	101	1,162	-	0.0	栃木、福岡、茨城、佐賀、静岡産中心の入荷となる。栃木は生育遅れで出荷減が続いていたが、12月下旬には平年並みに回復し、1月上旬に出荷のピークとなる。福岡は12月下旬から出荷量が増え、1月の出荷量は前年を大幅に上回る。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年並みの見込み。
ほしがき	156	114	384	2,168	85	1,619	1	0.6	長野、和歌山産が中心となる。昨年に引き続き、福島産は出荷自粛となる。長野は前年を上回るペースでの出荷が続く、1月中旬までは潤沢な入荷となる。L、2Lサイズが中心となる。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回るものの平年より高くなる見込み。
メロン類	387	95	429	930	101	928	-	0.0	静岡、熊本、宮崎、高知産が中心となる。品種はアールス、アンデスなど。静岡のアールスは生育順調で前年並みの入荷となる。サイズは6玉8kg台中心の見込み。熊本のアンデスは小玉傾向で、入荷量は前年をやや下回る。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。